

【平成 27 年度事業】

1 ロボット研究開発の支援

北九州市で生まれたロボットが実際に導入され、製品化・商品化につながるように、市場を見据えた研究開発プロジェクトを促進する。ユーザーとのマッチングや国等の研究開発助成の獲得支援など、コーディネート活動を行う。

●市内発ロボット創生事業

北九州ロボットフォーラム会員から開発メンバーを募り、新規ロボットの開発に取り組むとともに、ロボット市場の可能性を検証するための実証試験の場を提供する。

●助成プロジェクトの立ち上げ支援

市内外、企業・大学を問わず助成プロジェクトの申請支援や実施体制形成に関する支援活動を実施する。

2 ロボット実用化・事業化支援

これまで北九州ロボットフォーラムおよび(公財)北九州産業学術推進機構と連携して試作したロボットの実用化へ向けた課題解決や事業化への支援を実施する。実用可能性が高いテーマを中心に製品化へ向けたサポートを実施する。技術開発フェーズにあるロボットにおいても将来性のあるテーマについては、実証実験の場を提供する。支援対象のロボットは以下のとおり。

- ・競技場向け自動ライン引きロボット
- ・鉄道業界向け車両自動洗浄ロボット
- ・静脈血栓症予防のための小型下肢運動補助ロボット
- ・空港用手荷物カートの低コストロボット

3 人材育成の推進

学研都市の大学・大学院生を対象としたものづくり力の強化と幅広い人材育成を行うことを目的に、学生主体による開発・ものづくりプロジェクトを支援する「ひびきの高度ものづくり実践人材育成事業」に取り組む。具体的な支援活動として、学生主体のコンテスト「ひびきのハイテクチャレンジ」の実施、プロジェクト採択テーマへの助成や進捗管理、講習会の企画・運営等を行う。

また、社会人を対象にして、ロボットの活用全般が修得できるロボット道場を開催する。企画・運営は産業用ロボット導入支援センターが行う。

4 情報発信・交流の促進

北九州市が保有するロボット技術について市内外にPRするとともに、市民のロボット技術に対する理解を深めるため、ロボットに関する情報や北九州ロボットフォーラムの活動を積極的に発信する。

●総会の開催

平成 27 年 6 月 17 日(水) 西日本総合展示場

●幹事会の開催

総会の議事確認、市内発ロボット創生事業のテーマ決定などを目的として、北九州ロボットフォーラムの幹事をメンバーとした幹事会を開催する。

●セミナーの開催

総会、産学連携フェアに併せて、ロボットや関連技術に関するセミナーを開催する。

●展示会の開催・出展

6月17日(水)～19日(金) ロボット産業マッチングフェア北九州 2015(西日本総合展示場)

10月22日(木)～23日(金) 産学連携フェア(北九州学術研究都市)

12月2日(水)～5日(土)2015 国際ロボット展(東京ビッグサイト)

●北九州ロボットフォーラムの広報活動

各展示会や会議等への出展のほか、ホームページやニュースレター(3回発行/年)による情報発信により、市内外に広く北九州ロボットフォーラムの活動を発信する。

5. 北九州市ロボット産業振興プランの推進

本プランは「北九州市新成長戦略」の目標である「わが国をリードするロボット産業拠点の形成」を達成するための具体的な方策を地域の産学官の組織である「北九州ロボットフォーラム」で検討したものである。

●地域企業のロボット導入支援

産業用ロボット導入支援センターの運営および、中小企業向け製造ロボット「K-ロボット」の開発

●民生用ロボットの開発支援

高齢者、障がい者や介護現場のニーズに応えるロボットの研究開発支援及び介護ロボットの導入促進支援

以上